

矛盾

教科書出版社名 (三省堂)

○ 中学校 (1) 年 教科等 (国語)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・漢文のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読して古典特有のリズムや故事成語に親しみ、漢文の内容を読み取る力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・図書から教科書に掲載されていない故事成語を調べ、古代中国の人々のものの考え方を通して現在の日常生活に生かす応用力及び表現力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…図書館の本から教科書には掲載していない故事成語を調べる。必要に応じてタブレット端末でも情報を収集する。
- 整理・分析…調べた故事成語の意味や由来についてワークシートに記入し、日常生活と結びつけて自分の考えを整理する。
- まとめ・表現・発信…故事成語から中国の古代の人々のものの考え方や興味をもったところなど、整理した情報や根拠をもとに班で交流し、寸劇で表現できる場を設定する。

○ 学習の展開 (全 7 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)
(単元の流れを簡潔に記入してください)

第 1 時	・「矛盾」を音読し、漢文のリズムに読み慣れる。 ・「矛盾」の現代語訳を説明する。 ・班ごとに音読の練習をさせる。
第 2 時 (☆)	・図書館の本から教科書に掲載されていない故事成語を調べ、意味、由来などをワークシートにまとめさせる。 ・班で交流してどの故事成語を寸劇で発表するかを話し合う。 ・現代社会に結び付けた寸劇のシナリオ (台本) を考える。
第 3 時	・寸劇のシナリオ (台本) 作りに取り組み、完成する。 ・寸劇のそれぞれの役割 (出演者、ナレーター、スライド作成) を決める。
第 4 時	・寸劇の練習を行い、スライドや小道具の制作も並行して行う。
第 5 時	・寸劇のリハーサルを行い、課題解決のための最終調整を行う。
第 6 時	・寸劇の発表を行う。発表ごとに「評価シート」も記入させる。
第 7 時	・クラス全員分の「評価シート」を交流する。

(本時 6 / 7 時)

☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい

- ・伝統的な言語文化である故事成語について、その由来・意味・用例を正しく理解することができる。
- ・目的や場面に応じて故事成語を適切に表現し、自分の言語生活に生かすことができる。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
7	1. 班ごとにリハーサルの反省点を話し合い、確認する。	・前時の反省点が確認できているか。
36	2. 班ごとに発表する。(発表 4分×6班) ・発表する故事成語の意味、由来、興味をもったことなどについて調べたことをスライドで提示する。調べ学習の際に利用した図書も提示する。 ・寸劇では、日常生活であてはまる故事成語の発表し、日常生活への生かし方を伝える。 ・他の班の発表を見て「評価シート」に「評価」と「感想」を記入する。(記入2分)	・発表をしっかりと見て評価シートに記入することができるかを机間巡視しながら声かけをする。 故事成語の意味、由来、用例について調べ、今後の日常生活で活用できるような内容の寸劇のシナリオを考えさせる。 「中国故事成語大辞典」 「故事成語名言大辞典」 「故事成語ことわざ事典」などの図書を使って様々な故事成語を調べ、学びを広げる。
7	3. 「評価シート」の「自分の取り組みの反省」を記入する。	・「評価シート」が完成・提出できたか。

図書館活用
ポイント

☆評価基準【思考力,判断力,表現力等】評価方法【発表、ワークシート、評価シート】

得た情報から適切な故事成語を選び、日常に生かすことができる事例考え、表現する。

〈生徒の具体的な姿〉

- A 故事成語の意味を理解し、日常と結び付けて言語生活に生かすことができる事例を考え、ものの見方や考え方を広げることができる。
- B 図書やタブレット端末から得た情報から適切な故事成語を選び、スライドやワークシートにまとめることができる。

(指導の手立て)

図書やタブレット端末から得た故事成語の意味と日常生活とを結び付けられる場面を想像させ、故事成語をわかりやすく説明したイラスト入りの図書を提示し、自分の体験や日常の出来事と結び付けて考えられるように促す。